

喜界町



議会だより

174号

平成31年3月1日発行

写真：役場駐車場の秋桜と百合の花

主 な 内 容	一般会計補正予算	2
	常任委員会委員長報告	4
	一般質問に5名が登壇	7
	議決条例・陳情書・議会のうごき	12
	諸般の報告	13
	読者の声・編集後記	14

発行／喜界町議会 編集／議会広報委員会

〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地

TEL:0997(65)1115・FAX兼用




平成30年第4回定例会は、12月7日から14日まで8日間の会期で開催しました。

初日は、議長による諸般の報告、一般質問（議員5名登壇）、報告2件、承認3件、同意1件を決定。平成30年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、条例等の議案10件、陳情1件については各常任委員会に付託されました


平成30年度一般会計補正予算4号

◆ 補正予算の主なもの ◆

担当課	事業名	内容説明	予算額
総務課	庁舎管理費修繕料	台風被害による修繕費で空調関係が5,000万円、ベランダとテラスのシート分が714万円。	5,714万円
	 <p>台風24号による被害（庁舎）</p>		
	財産管理費修繕料	台風被害による各集落の公民館等の修繕	750万円
企画観光課	景観形成・環境保全活動支援事業助成金	各集落の美化活動、植栽活動のための機材等の購入補助金(上限5万円)中熊・白水・阿伝・中里・川嶺の5集落分。	25万円
	喜界町ふるさと寄附基金積立金	寄附金の増額によるもの	500万円
保健福祉課	観光費修繕料	台風被害の修繕、(ガーデンゴルフの電気工事・ムチャカナ公園トイレ屋根等)	100万円
	「食」の自立支援事業(配食サービス)委託料	利用者が増加傾向で、事業者増設のため	30万円

最終本会議には、平成30年度喜界町一般会計補正予算・特別会計補正予算、条例等の議案10件を原案どおり可決（他陳情1件は不採択）。追加提案、同意1件を決定。物品売買契約1件可決。

1億7,464万追加（総額73億7,553万）

担当課	事業名	内容説明	予算額
住民課	台風被害廃棄物処理委託料	廃材、コンクリートガラ、樹木、粗大ゴミ、畳、家具、ビニール等の処理委託料	611万円
	海岸漂着物処理委託料	海岸に漂着したゴミの処理委託（台風により増加）	165万円
	小型焼却炉購入	台風被害によるクリンセンター故障を補うため	1,890万円
農業振興課	喜界町営農支援センター運営費	ブロッコリー種、その他の用具購入費	255万円
		 <p>栽培面積・生産額が伸びているブロッコリー</p>	
	木のある街づくり事業等工事	塩道公園にブランコを追加するため	120万円
	農地・農業用施設復旧費	農業用施設が 4,550万円 農地が 500万円 (補助率農地が50% 農業用施設が65%)	5,000万円
建設課	道路補修材料費	塩道川沿い、栄石油前等の修繕	300万円
	住宅管理費修繕料	台風被害の修繕料	161万円
教育委員会 (総務課)	学校管理費〔中学校〕	南日本ハウス株式会社からの寄付を活用し、ICT機材の購入	261万円

常任委員会委員長報告

総務文教常任委員会

総務文教常任委員長 榮 哲治

議案第59号、平成30年度喜界町一般会計補正予算(第4号)の当委員会分について報告いたします。当委員会は、12月10日、委員全員出席のもと、委員会日程を1日間と定め、慎重に審査をいたしました。

補正予算は歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億7,464万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ73億7,553万9,000円とするものです。

●総務課所管分について

歳入の主なものは、地方交付税の普通交付税6,438万1,000円の増額です。

歳出の主なものは、調査管理費の需用費5,714万円は修繕料で、空調関係が5,000万円、ベランダとテラスのシート分が714万円です。情報無線施設管理費の需用費150万円のうち消耗品費50万円はアンテナ分で、それにかかわる修繕料が100万円です。

(主な質疑)

【質問】

空調修繕料5,000万円での対応について

【答弁】

使用できるものはそのまま、故障分についてのは取りかえる予定です。

●企画観光課所管分について

歳入の主なものは、総務費県補助金の総務補助金12万5,000円は、景観形成環境保全活動支援事業補助金で各集落の美化活動、植栽活動への2分の1の補助金です。今回は中熊・白水・阿伝・中里・川嶺の5集落分です。寄附金のふるさと寄附金500万円は歳入増額です。文書広報費の需用費10万は広報業務に係るソフトを購入するもので、インデザイン、フォトショップ、イラストレーター、三つまとまったソフトで、広報担当の事務省力化のために購入するものであります。企画費の負担金及び交付金25万円は景観形成・環境保全活動支援事業助成金です。町負担2分の1を追加し、5集落へ5万ずつ助成するものです。

(主な質疑)

【質問】

歳入のふるさと寄附金で、災害復旧などに使用目的を特定したものはあったか

【答弁】

災害復旧の別項目でふるさとチョイスの中

に設けてあり、300万円ほどの寄附があり、一人で200万円の寄附をした方がいました。広報については寄附者の意思を尊重するようにしています。

【質問】

ふるさと寄附金の返礼品リストはあるのか

【答弁】

返礼品で多いのがクルマエビで4割、吉川商店のセット商品が3割から4割です。マンガは不作だったので、数をそろえることができませんでした。メロンについては40箱の限定でした。拡大したいが、商品を確保できないのが課題です。

【質問】

景観形成・環境保全活動支援事業助成金について

【答弁】

去年も実施しました。区長会から要望を受け、予算の範囲内で実施し、県と町で5万円の助成です。

●建設課所管分について

歳入の主なものは、民生費国庫補助金の地方改善施設整備事業費補助金1,500万円の減額です。次に、住宅管理費の事業費

161万1,000円は修繕料です。

(主な質疑)

質問

歳入の地方改善施設整備事業費補助金の減額について

答弁

厚生労働省の事業ですが、県への割り当てもなく各市町村への補助金もないため減額しました。

質問

住宅管理費の修繕利用について

答弁

台風災害分は専決で対応しています。今回は中央の修繕分です。

質問

台風災害の住宅件数について

答弁

約80件以上あります。屋根、テラス、雨戸、戸袋被害がありました。

●教育委員会総務課所管分について

歳入の主なものは、教育費国庫補助金の中学校費補助金22万9,000円の増額は、特別支援教育奨励費補助金です。

歳出の主なものは、事務局費の需用費10万

8,000円は消耗品費で、登下校の児童生徒の安全確保充実ため、登下校の防犯プランとして配送車に張るマグネットシート購入分です。

(主な質疑)

質問

特別支援学級生徒増について

答弁

平成29年度は9名、平成30年度は16名です。クラスは1クラス増の3クラスです。

質問

特別支援学級の授業内容について

答弁

喜界高校に支援学級がありますので、学校存続のためにも教育委員会も積極的に進学にかかわっていききたいと思えます。

●教育委員会生涯学習課所管分について

歳出の修繕料30万円は台風被害による窓ガラス等の修繕分です。

以上で審査を終了し、当委員会は討論なく原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

産業福祉常任委員会

産業福祉常任委員長 安田英次郎

議案第59号、平成30年度喜界町一般会計補正予算(第4号)の当委員会分について報告いたします。

当委員会は審査期間を12月10日の1日間と定め、全委員出席のもと委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

●住民課所管分について

歳入は災害復旧事業費国庫補助金5,355万7,000円のうち住民課分は305万7,000円です。住民生活費25万円の増額は災害対策扶助費で、台風24号に伴うものです。火葬場費10万円の増額は消耗品で、除草剤や照明器具等です。

(主な質疑)

質問

火葬場費の消耗品で購入する除草剤等は火葬場周辺の整備のためのものかについて

答弁

駐車場や畑の斜面等にも使用するもので、除草剤を使用していきたいにすることにしているとの答弁でありました。

●農業振興課所管分について

歳入は、災害復旧事業費国庫補助金、災害復旧事業補助金5,355万7,000円で、農業振興課分は5,550万円です。内訳は農業用施設が4,550万円、農地が500万円です。補助率については、農地が50%、農業用施設が65%です。物品売り払い収入114万円は苗木、果実売り払い収入としてブロッコリーの苗です。

歳出は、喜界町営農支援センター運営費255万2,000円の増額は、ブロッコリーの種、セルトレイ等の用具一式の購入に伴うものです。林業振興費120万円の増額は、木のおふれる街づくり事業等工事で、塩道公園にブランコを追加するものであります。

農地農業用施設復旧費5,000万円の増額は、台風24号災害及び平成29年度に被災した箇所を含めて全19カ所の復旧費の増額です。特に被害が大きかった宮戸地区、(ムチャ加那公園の裏側、アマル地区の山の崩れた箇所)です。

(主な質疑)

質問

復旧工事の進捗状況について

答弁

11月末で67件完了、12月中旬で65%が見込み、平成31年2月末までに157カ所中155カ所が完了する予定です。残り2カ所が、宮戸地区、アマル地区になります。遅く

なりましたのは、資材の搬入の関係です。

●保健福祉会所管分について

歳出の、諸費・賃金は、放課後児童支援員2万5,000円の増額は、過年度平成27年から29年度における賃金の補正で、超過勤務算定率の適切な適用に伴うものです。高齢者福祉費30万円の増額は、食の自立支援事業(配食サービスの委託料)で、利用者も若干増加傾向です。今年度6月より事業者が増設され、委託料の増加が見込まれるためです。放課後児童クラブ運営事業費6万円の増額は、誘導灯の修繕です。

(主な質疑)

質問

高齢者福祉の中の食の自立支援事業の増加はどのくらいかについて

答弁

平成29年度が55名、平成30年度が63名です。なお、新規参入の事業所は、よりよりで、今年6月から事業開始をしています。

特別会計の主なもの

●議案第63号、平成30年度喜界町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ

998万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億4,527万3,000円とするものです。歳入は、衛生使用料200万円の減額。主に4月から11月までの実績値を集計した結果、300万円の減額になったためです。

(主な質疑)

質問

歳入の300万円の水道使用量が減額になっっている主な要因は何か

答弁

大口受給者の漏水対策が施されたためです。

以上で審査を終了し、当委員会では、討論なく、採決に入りました。異議なしと認め、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

一般質問

町政のことが聞きたい

第4回定例会で5名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
生駒 弘 議員

学校教室のエアコン設置について

質問

この夏、日本列島は災害級と言われるほどの暑さに見舞われ、愛知県では小学生が熱中症で亡くなるという痛ましい事故も起きています。酷暑が恒常化する中、子供たちにとって安全な学習環境を整えることは喫緊の課題ではないか。また、学校は大規模災害時には避難所として使われる。高齢者や病弱な人、乳幼児などが身を寄せることを考えても、エアコン設置の必要性は明らかである。学校へのエアコン設置は、これまで自治体が主体となつて進めてきた。しかし、全国の公立小中学校38万教室のうち、約半数近い十七万教室が未設置である。設置率が100%の自治体がある一方で、0%のところもあるなど、自治体間の格差も拡大している。設置が進まない理由として、財政負担が重いことが挙げられる

が、しかし子供の命に係る施策が自治体の財政力によって左右されることがあつてはならず、国の後押しが不可欠である。今回は、国は熱中症対策として、公立小中学校へのエアコン設置に822億円計上している。エアコン設置費用に対する国の補助率は従来どおりの三分の一であり、残る三分の二を全て地方債で充当できるようにし、その返済金の六割を国からの地方交付税で賄える仕組みを新設している。これにより、実質的な地方負担の割合が26.7%に抑えられることになる。来年の夏から教室でエアコンを使用するようにするには、今から準備しないと間に合わない。2年前にもエアコン設置に関する質問をしたが、このチャンスを利用して喜界町の小中学校の普通教室にエアコンを設置すべきだと思うが、見解を伺う。

答弁 教育長

喜界町の小中学校においては、エアコンは保健室、パソコン室、図書室などの特別室は以前から設置している。また、校長室、職員室、事務室、主事室、特別支援室については平成25年度に設置した。各教室については現在設置していない

が、近年、温暖化の影響で全国的にエアコン設置が大きな課題となっている。平成30年9月18日に県教育委員会が、県内の公立小中学校の教室のエアコン設置率が、平成29年4月時点では35.8%で、全国平均の41.7%を下回っていると明らかにしている。小中学校のエアコン設置には最大二分の二の国庫補助がある。国の補助の活用を図って推進していくための計画を現在策定しているところである。

先月13日には、幼稚園、小中学校のPTA会長連名で教室の温度がとて高いので空調機を設置してほしい旨の要望なども上がっている。空調機は、価格も高く、電力の消費量やメンテナンス等の維持管理費も大きいことから、一斉に全教室にすぐに設置することは困難で、町の財政面を考慮しつつ、計画的かつ段階的に整備を来年度以降進めていきたいと考えている。

質問

運動会の開催時期について、この夏、全国各地で記録的猛暑が続き、消防庁の調べによると、全国で5万9,000人余りの人が熱中症の疑いで救急搬送されている。喜界町を年度ごとに見てみると、平成

24年6件、25年が3件、26年5件、27年4件、28年6件、29年16件、30年11件となっている。中でも、9月16日、喜界中学校の運動会で4人が救急搬送され、一人は救急車が間に合わず軽トラックで搬送されたと聞いている。地球温暖化で年を追うごとに猛暑が厳しくなっており、運動会の時期をずらしてはどうかと思いますがいかがでしょうか。見解を伺う。

答弁 教育長

体育大会、運動会の開催については、連絡調整を行つて、高校、中学校、小学校、町民体育祭、そして幼稚園の順で開催している。開催時期の変更については、各学校における教育課程のほかの行事との関連と、高校、中学校、小学校、幼稚園及び町との連絡調整も必要となつてくる。今年の喜界中学校の体育大会では熱中症が多発したので、小学校や幼稚園の運動会では、水分補給や健康観察の徹底を図るとともに、開会式、閉会式等においても熱中症対策をとつて予防に努めたところでございます。時期をずらすことについて、体育大会、運動会の企画運営について、児童生徒の健康・安全を最優

先して、各学校の代表者からなる検討委員会を開いている。



質問する
峰山 恵喜光 議員

クリーンセンターの今後について

質問 クリーンセンターを延命するための具体的な方策はあるか。また、分別を細分化する計画はないか。

答弁 町長

昨年の集中豪雨、本年の台風24号とこれまでにない大きな被害に見舞われた。こうした中、町民の皆様方には大変な御苦勞をかけた、懸命に日常生活に戻っている。こうした前向きな生き方に深い感銘を受けた次第である。

住宅や農作物など甚大な被害を受けたが、人命を失うことがなかった点が不幸中の幸いと言える。私たち防災を担うものにとっても、町民個々の皆様方にとっても、地球温暖化もあって、今後大型台風が襲来する可能性を肝に銘じなければならぬ。クリーンセンターの運転停止については、最悪の場合は島外にごみを搬出することも検討

した。今後、ごみの減量化、再資源化も検討する必要がある。

答弁 住民課長

延命化については、年に1回保守点検を行い、それに基づき計画的に修繕を行ってまいりたい。今後も不良箇所を早急に発見し、計画的に修理等を行い延命化に努める。

ごみの細分化については、避けて通れない問題だと認識している。今年度中には段ボールの分別が可能となる。その他の分別については、処理の依頼先、輸送コスト、収集方法等の課題もあるので、問題の解決を図りながらごみの分別や収集、再利用等の情報収集を行い、本町に適したごみの分別処理を内部で検討していきたい。

質問

延命化を進めるために、生ごみの分別が今後必須だと思いが、どのように考えているか。

答弁 住民課長

生ごみを収集した場合、本町内で生ごみの再利用やリサイクルの処理をしなければならぬ。そのため早急な解決は難しいと考えている。対策として、まずは生ごみを減量する方法はないか、小型ごみ処理機等の普及も含めて総合的な生ごみ対策を課内や、ごみ処理対策検討委員会で検討していきたい。

質問

仮置き場の生ゴミの現状と受け入れがどうなっているのか。また新クリーンセンターまでの見通しは。

答弁 住民課長

仮置き場については、11月10日から焼却を始めまして、12月5日現在で約40トン焼却している。おおむね予定どおりと考えており、目標の3月末には完了したい。

質問

ゴミの減量を進めていく中で町民の理解が必要だ。今後、住民説明会など必要では。

答弁 住民課長

住民への情報等が足りない面もあるため、早急に情報収集と勉強会を含めて内部で検討したい。

質問

コンポストや生ゴミの乾燥機など助成金を入れた減量化を進めている自治体がいくつか見られた。本町のそういった助成金を入れた取り組みはできないか。

答弁 住民課長

生ごみ処理機の購入の助成の件は、その辺の生ごみのごみ処理購入の助成も含めて、総合的に生ごみの対策を今後、ごみ処理対策検討委員会にも図っていきたい。

質問

堆肥センターの計画はあるが、生ごみの堆肥化の計画はあるか。

答弁 農業振興課長

堆肥センターの建設に向けて取り組んでいる。その堆肥の材料についても検討中である。基本的には、牛糞とかバガスが主な資材になると思うが、今の議論のとおり、これからごみの細分化が進み、生ごみの処理が必要になってくることも考慮しながら堆肥の材料として検討をしていく。

質問

日曜日における粗大ごみの搬入について、受け入れが第三日曜日の前中だけになっている。利用需要が多いので改めることはできないか。

答弁 住民課長

クリーンセンター内でのごみの滞留対策や、限られた人員で効率よく運営していくため、町民の方々の御協力のもと実施したものである。しかしながら、集落作業や、学校作業等があれば事前に連絡をいただいて、第三日曜日以外の日曜日、また需要の多い年末等も受け入れを行っているので御理解をお願いしたい。

質問

空き家による全壊が多く見られた。今後も台風の被害で影響が出

ると思うが、今後どのような対策を考えているか。

【答弁】 総務課長

今後の対策として、空き家等は財産や所有権に基づき所有者等が適切に管理することになっている。適切な管理が行われていない空き家等は、防災、衛生面、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすことになる。空き家等対策の推進に関する特別措置法が平成26年に制定された。今後は、本特別措置法に基づき、本町の空き家等対策規約を策定し、空き家等の適正管理に関する条例を3月までには制定したいと考えている。関係課と協議を行い、早期策定に努めていく。



質問する
良岡 理一郎 議員

老人福祉施設の民営化について

【質問】

議会の議決前に「広報さかい」に移譲法人の紹介や理事長のあいさつを掲載したのは議会軽視・無

視ではないか。町長の認識を伺う。

【答弁】 町長・老人福祉施設長

理事長あいさつにおいて移譲法人について候補者の文字がなかったことについては申し訳ない。広報さかいへの掲載は町民に民営化を正しく理解していただくためであり間違つてはいない。

【質問】

特老喜界園の直近の入居者数と入所待機者数について伺う。

【答弁】 老人福祉施設長

12月6日現在入居者は63名。待機者は20名である。

【質問】

来年4月1日の開設に向け定員を満たしてスタートできるかを伺う。

【答弁】 老人福祉施設長

来年四月入居者数は前回答弁どおり（60名から70名）を見込む。2年日以降は満床を目指す計画である。

【質問】

施設職員の総人員数と雇用形態・職種別について伺う。

【答弁】 老人福祉課長

全職員と面接し、希望者全員の雇用を継続する。全体として7割

を正規雇用とする。介護職員を計画的に増やしていく。

自然災害対策について

【質問】

情報伝達について 家庭内の受信機の受信状況の把握と対策が必要ではないか。お年寄りには防災無線が安心のよりどころである。夜中に「今日の放送は終了」との案内は心細くなる。対策は？

【答弁】 総務課長

実態を調査しつつ新しい防災無線について検討する。放送時間は午後9時までの内規があるが今後は柔軟に対応していく。

【質問】

避難場所について 台風24号時の役場避難所への避難者は何名だったか。対応した役場職員の人数は何名か。役場避難所の屋根やガラス壁面の損壊は予測外ではあったが、安全確保、寝具や食料の支給について説明願いたい。

【答弁】 総務課長

避難者は38世帯、64名で寝具の配布や食料・水、お湯については必要な対応が出来た。役場職員6名が対応に当たり、台風対策全体では54名の職員が対応にあたった。安全面ではコミュニティホールのほか3部屋を使った。

【質問】

今後は避難所の利用者が増えるものと思われる。その対策を伺う。

【答弁】 総務課長

自然休養村管理センター、公民館、防災食育センターも活用していく。

【質問】

消防分署の津波対策について 消防分署の海拔は7メートルで南海トラフ巨大地震や過去の喜界島地震（中里集落の聞き取り調査からの推計で津波10メートル）に対応できない。災害時の消防分署の大きな役割を考慮すれば高台まで移設しておくべきかと思う。

【答弁】 総務課長

消防分署は建築後30年を経過している。今後建て替えるときは防災・食育センターの隣地なども候補地にしながら検討していく。

【質問】

停電対策として電線の地中化など検討すべきかと思うが如何か。

【答弁】 総務課長

1キロ当たり6億8,000万円と高コストであり検討できる状況ではない。

ペットボトルの回収袋について

質問

ペットボトルの回収は家計面から市販の大容量の透明袋でも可能としたら如何か。

答弁 住民課長

平成18年から指定袋を導入している。市販袋の使用は直ぐには無理。他の市町村の取組み情報を収集していく。



質問する
河上 弘仁 議員

災害復旧の進捗状況について

質問

災害復旧の進捗状況と今後の復旧にどのくらいかかるか

答弁 建設課長

建設課分の土木施設の災害復旧については、去年の台風豪雨、9月の豪雨による5件の災害復旧工事を発注している。その中で、池治カモウ線、メオトガジマルのそばの道路の災害復旧工事については12月いっぱい完成する予定である。また、塩道トオバル2号線、通称1

本道、塩道シラカワサンバル線、平家森アマル線、河川の塩見川の4件の災害復旧工事については、八月中旬までに完成している。

答弁 農業振興課長

農業振興課関係災害復旧の進捗状況は、今年6月に全ての工事が発注を終えている。12月の末時点で全体の災害箇所が157カ所ですが、157カ所中67カ所、43%が完了している。12月中には103カ所、66%が完了見込みで、来年の二月末にはほぼ100%完了する予定。

質問

現在まだ工事が始まっていない道路はいつごろできるか。また、元どおりに復旧するか。

答弁 農業振興課長

全体で2月末にはほぼ100%と申しました。実際、河上議員おっしゃるような工事が進んでいない箇所も中にはある。最近の全国的な災害発生で二期資材が入りにくい状況があったり、台風24号の対応であったりということが進んでいない現場もあるが、完成に向けて着々と進んでいる。一部、特に小野津の宮戸地区では、キビの搬入も始まって伐採等の関係もあるかと思うので、その辺は事業者のほうと農家との連携を密にして伐採作業に支障のないように進める。

質問

去年の災害から土砂が畑に流れ込み、まだ撤去が進んでおらず、農家の負担金が発生するが、その負担金は、去年も収穫ゼロ、今年もゼロで、来年復旧したとしてもそれから植えてから3年、4年ぐらいはかかる。その間、収入が無いが、これに対しても復旧の負担がかかるのか

答弁 農業振興課長

工事の遅れによって農家の方に負担、収入の減少ということ、申しわけなく思いますが、災害工事の要件として負担をいただくことになっている。

質問

台風24号による家屋や牛舎、ハウス等の支援対策がなされているか

答弁 農業振興課長

台風24号により被災した牛舎、ハウスに対する支援策ですが、牛舎の方が35件、ハウス28件が被災している。その影響で、大量の災害ごみが発生した。先ほど峰山議員のお話にもありましたが、その災害ごみの関係ですが、一般ごみのほうは処理手数料を減免するということが進めましたので、同様に農業用の災害ごみについても減免する方針で、今、仮置き場に収集をしております。また、被災農家に対する資金面での相談会等も実施

をしている。また、国のほうの支援策ですが、これは撤去や修繕関係なんです。詳細な実施要綱、要領がようやく固まりましたので、被災された農家の方に対しては、事業選択を含めて対応しています。また、当然、町の予算も関係します。ですので、これから3月議会がありますけれども、対応が間に合わないことも考えられますので、その際は専決処分になることも御理解いただきたいと思います。

をしております。また、国のほうの支援策ですが、これは撤去や修繕関係なんです。詳細な実施要綱、要領がようやく固まりましたので、被災された農家の方に対しては、事業選択を含めて対応しています。また、当然、町の予算も関係します。ですので、これから3月議会がありますけれども、対応が間に合わないことも考えられますので、その際は専決処分になることも御理解いただきたいと思います。

質問

小野津集落内の排水路の拡幅または新たな水路ができないか

答弁 建設課長

排水路の拡幅または新設については、道路及び排水路の設計基準があるため、補助事業で行うのは難しいと考えている。また、現在、農業振興課において、防災減災の事業化を目指して小野津地区内を検討中と聞いているので、その結果を参考にして集落内の排水計画を検討し、補助事業等を探したいと考えている。

質問

検討しているということですが、前金久集落は今回大きな被害があり、また、大きな排水路がなくて道路に沈砂地をつくって対応している場所もあるので、できれば新しい水路とか排水路が拡幅できたら

と思う。それと、神宮集落も3から4カ所の拡張が必要な場所があるので、あわせて検討ができないか伺う。

答弁 建設課長

両集落内の排水の計画については、去年の豪雨災害等については台地の上の農地と50年に1回の豪雨が2回来て、想定外の雨水が流れってきた。現在の集落内道路にある排水路では排水できる状態ではない。それは、道路の排水路についても、国の設計基準があり、川みたいに大きくすることはなかなかできない。それと、小野津については、末端の水路、海とか海岸線に流れる大きな水路が集落内にあまり無いので、また起伏があり、なかなかそこに持つていけないので、今現在、検討している農業振興課の計画を参考にして検討していきたい。

質問

農業振興課としてはどのような考えをお持ちか伺う。

答弁 農業振興課長

建設課長の方から言った農業振興課関係の事業ですけれども、これは昨年の豪雨災害を受けて、これまで無いような規模での災害でしたので、従来の農業施設、畑地帯総合土地改良事業を含めて農業施設の規模を根本的に変えるとい

うことです。

喜界町全域で、何カ所か島内でも場所を絞り、30年度事業で計画を立て、32年度の採択を目指して、県に要望している。

質問

小野津バス停前の道路が、大雨が降ると冠水し通行止めになるので、その対策は無いか伺う。

答弁 建設課長

バス停前の県道について、去年の豪雨災害から何回か冠水して車が通れない状態にあった。これについては県道ですので、県と打ち合わせしながらやっている。県からは、県道から漁港への流末排水路も合わせて解決しないと効果が無いというので、集落内の排水路の検討と合わせて県と町が連携して対応して冠水の解消を目指したいと考えている。

質要

今回の事故は、被災住民のみならず、大勢の町民に大変な衝撃と不安を与えた重大な爆発事故としてマスメディアによって大々的に報道されている。この爆発事故で、陸上自衛隊不発弾処理隊の調査により、不発弾の爆発である可能性を否定できないとしながらも、不発弾であるという断定は避け調査を終了している。

質問

今回の爆発事故の原因究明について伺う。

答弁 総務課長

原因究明については、自衛隊西部方面後方支援104不発弾処理隊に調査したが、爆弾との確定には至っていない。

質問

この爆発事故による被災補償について伺う。

答弁 総務課長

被災補償については、現在該当する補償制度がない状況である。

質問

行政として今後この問題についてどのように対応するのか。

答弁 総務課長

湾の一部と中里については、公共下水道や簡易水道事業では工事を行う前に調査を実施しており、今後の対処についてはどのような方法があるか検討していく。また、先日、沖縄県の磁気探査協会の皆さんが来て、沖縄ではこういうのがあるというのでいろいろ説明を受けた。そういうことも活用しながらやっていきたいと思う。



質問する
幸一美 議員

爆発事故の原因究明について

◆ 議決条例・陳情等案件報告 ◆ (議長は裁決に含まず)

議案	内容	賛成	反対	採決
議案第66号	町長等の給料等に関する条例等の一部を改正する条例について	10	1	採択
議案第67号	喜界町職員の給料に関する条例等の一部を改正する条例について	11	0	採択
議案第68号	喜界町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の全部を改正する条例について	11	0	採択
議案第69号	小型焼却炉の物品売買契約の締結について	11	0	採択
同意第5号	教育委員会教育長の任命について	11	0	採択
陳情第3号	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	0	11	不採択



議会のうごき(1月～3月)

- 1月6日 消防出初式
- 1月9日 正副議長研修会
- 1月24日 喜界馬歓迎セレモニー
- 1月28日 県内視察研修 日置市(全議員)
- 1月29日 議会議員研修会 鹿児島市(全議員)
- 1月31日 奄美・やんばる交流会 沖縄県(議長)
- 2月5日 ドクターへり説明会
- 2月13日 県町村監査協議会定期総会
- 及び監査委員等研修会(峰山議員)
- 2月21日 県議長会定期総会(議長)
- 2月27日 議長会、市町村長・議長合同会他
- 3月初旬 平成三十一年第二回定例会 開会
- 3月中旬 平成三十一年第一回定例会 閉会

ご案内

第2回定例会は、6月上旬を予定しています。

午前9時30分 開会 皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の模様をインターネット中継でご覧いただけます。

(動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。)

お問合せ 喜界町議会事務局 電話 65-1115

諸般の報告

議長 外内 千里

◆ 10月21日、鹿児島県婦人会館で鹿児島県喜界会敬老会に出席、対象者が450名中、70名ほどの方が出席しているとの説明を受け、郷友会も高齢化が問題になっていることを感じた。

23日には、鹿児島県総合体育センターで、県戦没者追悼式が開催され、知事、戦没者遺族、県選出の国会議員代理、県会議員、市町村長、議長等関係者が参列し、本町から遺族代表、担当課長と私の3名が献花させていただきました。

◆ 11月3日、鹿児島市ホテルレクストンにおいて、「はじめまして、出身は奄美群島です。世界大会」の名称で、世界各国から奄美出身者の歓迎会へ出席、群島市町村会が開催したもので、北・南カリフォルニア、ブラジル、ミヤンマー、ソウル、ニューヨーク、シンガポール、タイから鹿児島県人会の44名の方が出席され、県内市町村長と議長との交流会をいたしました。二世、三世の方々が主な出席者で、有意義な情報交換ができたと思います。翌日は、鹿児島県奄美郡奄美会創立百周年記念式典祝賀会が開催、式典は四百名ほどの方が出席され、嘉味田会長らの式辞、三反園知事、金子衆議院議員、市町村長代表の奄美市長、外国奄美会代表として南カリフォルニア奄美会会長のニシモト氏の祝辞の後、歴代会

長等の永続功労者表彰が行われました。

◆ 11月9日、鹿児島において、鹿児島県高齢者医療広域連合議会議員研修会が開催されました。先に開催された本会議における、平成29年度決算認定、そのほか議案について原案可決しております。翌10日には、大口グリーンホテルで伊佐市市政10周年記念式典歓迎交流会が開催され、交流会では、友好都市であります西之表市長、議長、大韓民国南海郡から議員の皆さん11名、各地の郷友会の方と、私と教育長が案内されました。川畑さん、界真子さんが舞台を務め、2人の熟練された島唄で大いに盛り上がりました。

◆ 11月14日、与論町において奄美群島市町村議会議長会、各種協議会が開催されております。議長会では、市町村会で緊急提案されました自動車教習所で開催されております試験の開催を月2回に増やすよう働きかける要望を議長会連名で提出する案が採択されておりあります。翌日の視察では、スポーツくじを活用した与論町多目的運動広場整備事業と、ヨロニアアイランドファーム株式会社奄美・黒ホロホロ島の加工場と飼育状況などを視察しました。

◆ 11月17日、18日は、天城町で開催されました第31回奄美群島農業祭の交流会、式典、現地視察がありました。式典は、天城町防災センターで開催され、会長の川島町長の開会挨拶、来賓祝辞、群島農政推進協議会、農業

委員連絡協議会、糖業振興会等の表彰、地元天城町の各種表彰の後、鹿児島大学高山准教授の鳥獣被害対策についてのお題で記念講演がありました。本町が抱えているカラス対策、鹿対策にも参考になる講演でした。

◆ 11月20日、東京において第37回離島振興市町村議会議長会全国大会が開催されました。国会議員の各党代表の祝辞をいただき、宣言では離島の厳しい現状を踏まえ、国の領域、排他的経済水域で果たす役割を踏まえ、国による離島航路、空路の支援、奄美群島振興開発特別措置法、小笠原諸島振興開発措置法の延長を求め、12項目の決議、2項目の特別決議、14項目の実行運動方法を定め、頑張ろうコールで締めいております。翌21日には、NHKホールにおいて、安倍総理ほか大勢の国会議員を迎え、第62回町村議会議長会全国大会が開催されておりあります。東日本大震災、熊本地震等からの復旧・復興、大規模災害対策の確立等、5項目の特別議決がなされ、25項目の要望、9項目の地区要望を定めております。また、あわせて行われました第43回豪雪地帯町村議会議長会全国大会では、8項目の要望を決議しております。大会終了の後、各地区代表による国会議員への協力要請では、与論町の議長とともに地元選出の金子衆議院議員に離島議長会、全国議長会の要望書をお渡ししてまいりました。

◆ 11月27日、鹿児島県離島町村議会議

長会現地研修会が種子島で開催、市町村会の鎌田会長の地元である中種子町では、庁舎玄関で園児が旗でうれしい出迎えがあり、庁舎内では職員全員が起立で出迎えていただき、感激いたしました。研修は、町の取組み全体の説明を受け、質疑応答の形で進められました。鳥獣被害対策の鹿の件の質問では、農地に入れない対策であるとの説明で、本町の現状については、鹿の繁殖力に触れ、早期に撲滅対策をするべきと指摘を受けました。また、独身男女交流イベントでは、平成20年から8組のカップルが誕生しているとの説明でした。

◆ 南種子町では、種子島宇宙センター視察後、宇宙留学制度について説明を受けました。平成8年から30年まで、7つの小学校で715名を受入れ、649名が終了、申込みは全国から1,430名です。また、成人式には卒業された留学生が参加し、町の応援団となっているそうです。

◆ 11月29日、東京へ中央要望活動、議会担当市町村は、喜界町・与論町・大和村で、市町村長と広域事務組合担当の4班体制で行われました。今年度で期限切れとなる奄美群島振興開発特別措置法の延長を目指し、来年度の子算措置への協力をお願いするもので、地元選出国會議員、各大臣、副大臣、政務官、各省庁担当課への要望活動を行ってまいりました。

以上で報告を終わります。

喜界高校 3年 竹下 耕大

喜界島の方々は、私達をたくさん応援し支えてくれました。部活動では練習の相手をしていただいた。街で会うと「最近頑張ってるか」と声をかけてくれます。そんな『島つちゅ』の温かさ、喜界島の伝統を受け継いでいかなければならないのは私達です。

これから社会に出ていく私達は、たくさんの方々の不安や挫折に押しつぶされ、挫けそうになることがあると思います。その時は、故郷喜界島を思い出し、どのような事にも負けないよう頑張ります。そして、社会からたくさんの方々のことを学び、喜界島に帰って来る思いです。

これから喜界島のため、人々のために行動し、そして喜界島に新しい風をふかせられるよう日々精進致します。



編集後記

はじめに最近、議会だより発行の遅れや字句の訂正があったことをお詫び致します。広報委員会はもちろん、議員12名全体で議会だよりの意味、作成内容などをあらためて検討、議論し議会の動きがより伝わり、身近な議会広報誌であるよう努めて参ります。昨年10月には新たな委員会構成もありましたが、広報委員会はメンバーが変わることなく、今まで取組んできた活動を活かし、様々な意見を聞きながら、初心を忘れず広報活動に取組んで参ります。これからも皆様のご意見、ご感想などを頂ければ有り難いです。

表紙の写真ですが、新年初旬から後半まで役場駐車場(スクールバス庫前)に秋桜(コスモス)と百合の花が咲いた『旬』の写真です。今後も美化活動の二環として取り組みます。

災害が少なく、皆様に多くの幸せがありますように…。

文責 野間 弘也



喜界町議会広報委員会
 委員長 生駒 弘
 副委員長 河上 弘仁
 委員 良岡 理一郎
 委員 野間 弘也
 委員 峰山 恵喜光
 委員 榮 優太